

突発性難聴の治療を受けられる方へ

- ①突発性難聴とは…突然聴力が低下する疾患で聴力低下・耳鳴・耳閉感など症状は様々です。
- ②原因…血流障害やウイルス感染・ストレスなどがあげられます。
- ③治療…内耳の血流を良くし、神経細胞自身を活性化させる薬を点滴・内服にて投与します。
- ④入院期間…12日間の入院が必要となります。

| | | |
|-----|---|--|
| 点滴 | <p>耳の炎症を抑える薬を点滴で12日間投与し、徐々に減量し、点滴終了後は内服に変わります。</p> <p>入院日～入院9日目 (/ ~ /)</p> <p>午前・午後</p> | <p>入院10日目～入院12日目 (/ ~ /)</p> <p>午前のみ</p> |
| | <p>末梢循環改善薬の点滴を投与する場合があります。</p> <p>入院日～入院5日目の午前のみ (/ ~ /)</p> | |
| 内服 | <p>メチコバル…血流を良くし、代謝を活性化させます。末梢神経障害を改善させます。</p> <p>レバミピド…胃薬</p> <p>アデホスコワ…代謝の活性を増加させます。めまいを改善させます。</p> <p>点滴終了後プレドニゾロンを3日間内服します。 (/ ~ /)</p> | |
| 検査 | <p>聴力検査は月曜日と木曜日の午後です。2階の生理検査室で行いますので随時お知らせします。</p> <p>血液検査…状態に応じて行います。採血は朝食前にお伺いします。</p> <p>糖尿病や血糖の高い方は食事の前や寝る前に血糖測定を行います。</p> | |
| その他 | <p>治療薬や疾患が原因でめまいやふらつきが出現することがあるので動作時は注意して下さい。</p> <p>末梢循環改善薬は出血しやすくなります。生理中は使用できませんのでお知らせ下さい。</p> <p>疾患や内服薬によっては末梢循環改善薬を使用できない場合があるのでお知らせ下さい。</p> <p>喫煙は血管を収縮させるため治療に逆効果です。喫煙は避けて下さい。</p> | |